

〔国際登録の存続期間の更新の申請（商標法施行規則第10条の2関係）様式備考〕

- 1 用紙は、日本工業規格A列4番（横21 cm、縦29.7 cm）の大きさとし、インキがにじまず、文字が透き通らないものを縦長にして、折らずに片面のみを用い、用紙には不要な文字、記号、枠線、けい線等を記載してはならない。
- 2 文字は、タイプ印書又は印刷により記載する。手書きによるものは、認められない。
- 3 コンピュータ印字を用いて国際登録の存続期間の更新の申請の書面を作成するときは、次の要領により作成する。
 - イ 書面の割り付け及び内容は、MM11の形式と一致し、各欄を拡張する場合は、欄の途中で次ページにならないように作成しなければならない。
 - ロ すべての欄は、一本線で描かなければならない。
 - ハ 各欄は、そこに記載する情報がないときも、表示しなければならない。
- 4 各欄への記載は、別段の定めがある場合を除き、英語でしなければならない。
- 5 「For use by the holder」中、「This renewal contains the following number of continuation sheets:」は、「CONTINUATION SHEET」の枚数を記載する。
- 6 「Holder's reference:」は、ローマ字、アラビア数字若しくは「—」又はその組み合わせによる書類記号を記載することができる。
- 7 第2欄「NAME OF THE HOLDER (as recorded in the International Register)」は、国際登録簿と同一のものを記載する。
- 8 国際登録名義人が2名以上いる場合は、1名について第2欄及び第5欄「SIGNATURE」に記載し、その他の名義人については名義人1名ごとに第2欄及び第5欄のすべての項目及び必要事項を「CONTINUATION SHEET」に記載する。
- 9 第5欄は、名義人又は代理人が押印又は署名する。ただし、国際登録の存続期間の更新の申請を特許庁長官にする場合、第5欄は空欄とする。
- 10 「Name」は姓及び名を姓、名の順に、これらのローマ字への音訳又は英語への翻訳を記載する。
- 11 年月日を記載する場合は西暦及びグレゴリー暦により、「日/月/年」の順とし、日及び月は2桁、年は4桁のアラビア数字で表示し、日及び月の数字の後にスラッシュを付す（例えば2015年2月4日は「04/02/2015」）。
- 12 特許印紙は別の用紙にはり、その下にその額を括弧をして記載するとともに、名義人の氏名（名称）、国際登録番号、書類記号及び提出日を記載する。
- 13 国際登録の存続期間の更新の申請等の提出書類は、容易に分離し又はとじ直すことができるように例えばクリップ等を用いてとじる。